

効果的な校内研修の在り方2 「授業分析 25 の視点」を活用した研究会

東部教育事務所

学校訪問資料や校内研修資料に「授業分析 25 の視点」を入れ、活用している学校が増えてきました。

ここでは「授業分析 25 の視点」を使って、校内研修で、授業研究の活性化を図った C 小学校の例を紹介します。

1 授業の様子

授業分析 25 の視点

授業者 () 月 日 () () 校時 () 年 () 組
先生 参観者 ()

段階	項目	内容	チェック ○△
学 ぶ 環 境	①規律	「規律ある態度」は意識されているか。	
	②人間関係	児童生徒の人間関係は円滑か。	
	③言語環境	言語環境は整っているか。	
全 体	④目標と評価	本時の目標（めあて）と評価は適切で、達成されたか。	
	⑤付けたい力	本時の授業で付けたい力を身に付けさせることができたか。	
	⑥意欲	意欲的に粘り強く最後まで課題に取り組みさせることができたか。	
導 入	⑦進め方	導入・展開・終末等進め方や時間の割振りは適切か。	
	⑧見通し	授業の見通しをもたせているか。	
	⑨課題提示	学習課題の提示の仕方は適切か。	
展 開	⑩課題理解	わからない点を理解させているか。	
	⑪学習課題	学習課題は適切か。（意欲をかき立て、思考を活性化させるものか）	
	⑫学習形態	学習形態は効果的か。（個人・ペア・グループ・全体）	
閉 結	⑬言語活動	言語活動は効果的か。（習得・活用、思考力・判断力・表現力）	
	⑭発問説明	発問や説明等は適切か。	
	⑮思考時間	考える時間は保障されているか。	
終 末	⑯読取り	資料等を読ませ、必要な情報をとらえさせているか。	
	⑰思考整理	考えを自分の言葉でまとめさせているか（答え・根拠・理由）。	
	⑱伝え合う	考えを伝え合おうとさせているか（ペア・個人・グループ・全体）。	
終 末	⑲グルーピング	出された考えを整理（グルーピング）させているか。	
	⑳支援	評価規準に基づいた評価方法や手立ては適切か。	
	㉑ノート	ノートは思考を助け、振り返ることのできる内容になっているか。	
終 末	㉒板書	板書は思考を助け、振り返ることのできる内容になっているか。	
	㉓資料等	資料・プリント・教具は、効果的に活用されているか。	
	㉔振り返り	目標・学習内容を振り返えらせたか（理解できたか把握したか）。	
終 末	㉕予告	本日の授業を次時の授業や家庭学習につなげているか。	
<メモ>			

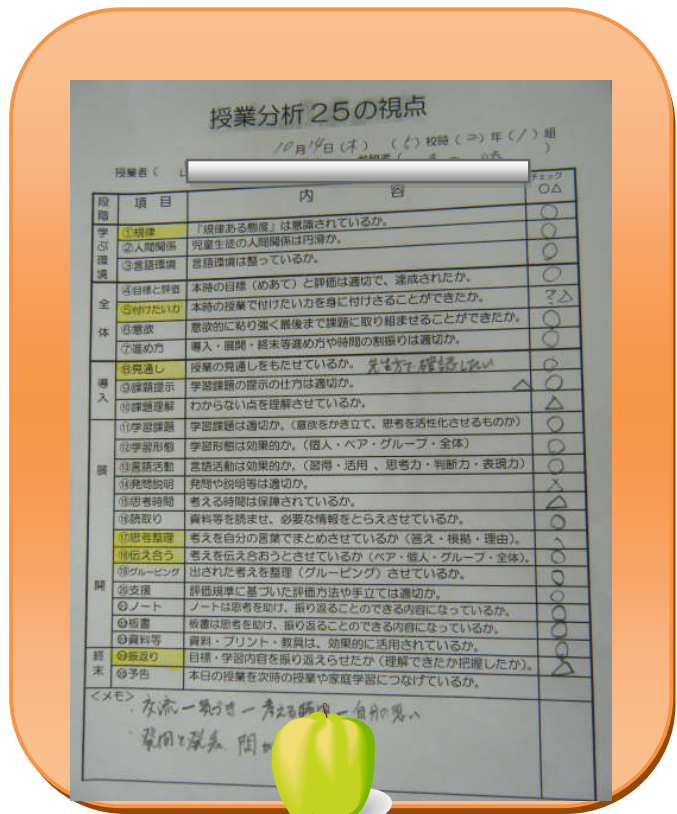
授業者が、事前に「授業で見てほしい視点」を明確にします。今回は、①、⑤、⑧、⑰、⑱、㉑の6つにポイントが絞られました。授業を参観する先生は、この視点を中心に「授業分析 25 の視点」をチェックしていきます。



2 研究会



司会者が「授業分析25の視点」6つのポイントを中心に進め、研究会が進みました。



「授業分析25の視点」の活用メリット

【作成の思い】

- (1) 新学習指導要領が求めるポイントや県の施策等を押さえられるようにしたい。
- (2) 参加者全員が、共通の視点（物差し）をもつことで、研究協議を活性化させるようにしたい。
- (3) 授業者や参観者の意識が高まり、授業力向上につながるようにしたい。

【メリット】

<参観者>

- ・授業を参観する時に、共通の視点で分析できる。
- ・「授業のフローシート」を活用することで、さらに授業の流れを明確に捉えることができる。

<授業者>

- ・学習指導案作成時の客観的指標になる。
- ・多くの参観者の評価が形として残るので、客観的なデータとして、授業等を振り返ることができる。

<研究会>

- ・参加者全員が、共通の視点（物差し）をもつことで、研究協議の方向性が明確になり、活性化する。

等

